

彦根・愛知・犬上 「在宅医療福祉職応援事業」通信



# くすのき根っこ

Vol. 4



## ◆◇◆彦根薬剤師会主催の多職種連携学習交流会が開催されました◆◇◆

### 『専門職の役割と多職種連携を考える』 薬剤師×ケアマネジャー



去る5月20日（土）彦根勤労福祉会館において、彦根薬剤師会主催で多職種連携学習交流会が開催されました。

彦根薬剤師会 会員15名と、彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会（以下、「彦愛犬ケアマネ協議会」）の役員7名が参加。今回は、薬剤師がケアマネジャーのこと（果たす役割や業務内容等）を理解すること、そして、薬剤師とケアマネジャーと一緒に連携について考えていこう、という目的で、彦愛犬ケアマネ協議会会長の辻広美氏からの話題提供と、グループワークが行われました。

会の冒頭、彦根薬剤師会理事 池田富美子氏より、『ケアマネジャーの思いを受け止めて、その中で、“薬剤師にも支援をしてもらわんとあかん”と明日から思ってもらえるような研修会にしていきたいと思います。そして会の中で、こういった活動が出来るのかお互いに意見し合いながら力をつけていきたいと思います』と挨拶がありました。



### ケアマネジャーって？

「ケアマネジャーって何してる人？」の問いかけに学習会はスタート。「話をまとめる人」「患者さんのことを一番良く知っている人」「自宅に訪問している人」等、薬剤師の皆さんからケアマネジャーに対するイメージを出してもらいました。

そして辻氏より、ケアマネジャーの日々の業務内容、とある1日の流れについての説明とともに、「介護支援専門員は、多職種との連携を図り、支援チームを形成することも大きな役割にある」ことが伝えられました。

### ある事例から連携について考える

その後、事例をもとに『服薬支援の手立て』『薬剤師がどのように関わるか』『ケアマネジャーと効果的に連携していくにはどうしたらいいか』というテーマでグループごとに意見交換が行われました。

推測される生活の状況や介護の情報をケアマネジャーと意見交換しながら、薬の専門家として、「それならこんな方法が～」「この点はもう少し詳しく情報があるといい」等、様々な視点での意見が出され、共に連携について考えることが出来ました。

### これからのつながりに期待

最後に、辻氏より、これから支援チームメンバーとして協働していくことについて期待をこめ、こんなことを教えてほしいという具体的な提案がありました。まだまだ話が盛り上がる中、時間となり、学習交流会は終わりましたが、今後もこのような多職種での取り組みの必要性が感じられました。

# 薬剤師さん出番です！

多職種チームで支援を考える（グループワークの様子）

## 【事例】

- ・独居 女性 80歳代 要介護2
- ・高血圧 アルツハイマー型認知症
- ・アリセプト メマリー アムロジン 服薬飲み忘れあり
- ・訪問介護 訪問看護 認知症対応型通所介護を利用中



## 服薬支援の手立て



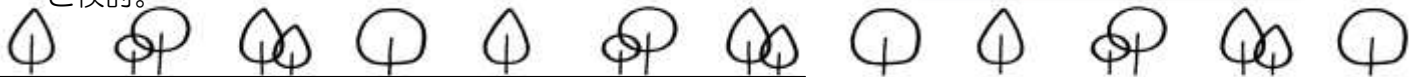
- ◆一包化や薬カレンダーを導入して様子を見る。
- ◆一包化したときに袋に日付をつけるかどうか、検討する。
- ◆剤形が本人に合っているかの確認と調整をする。
- ◆剤形によりアプローチの仕方を提案する。

## ケアマネジャーとの効果的な連携

## 薬剤師はどう関わる？

- ◆薬を嫌がる原因を探る必要がある
  - ・まず本人に会う（本人を知る）
  - ・薬の処方内容を確認する。
- ◆ヘルパーによる調理で減塩の対応について助言が出来る
- ◆薬剤師に相談してもらえたら何かしら提案が出来る。
- ◆主治医に相談しにくいことも薬剤師から伝えることが出来る。
- ◆薬剤師の白衣効果、専門職からの説明効果も活用してもらえるとよい。利用者に服薬遵守の重要性を伝えられるといい。
- ◆自宅まで様子を見にいけるとよい。店の営業時間は厳しいので、定期的に休業日に調整するなど検討。

- ◆担当者会議に参加（情報共有）  
CM：「薬剤師さんに参加してもらえますか？」
- ・担当者会議の場で在宅療養管理指導の話も相談していけるとよい
- ・担当者会議で他のサービス事業所とも情報交換
- ◆薬剤師にどこまでしてもらえるのか、ケアマネジャーが知っているといいが、まだあまり知られていない。ケアマネジャーに薬剤師の在宅支援での役割を広く知ってもらう必要有。
- ◆ケアマネジャーにヘルパーさんが服薬介助としてできる範囲を確認しながら服薬支援について提案する。



### 《編集後記》

会が終了してから教えてもらったことですが、薬手帳は受診時に持参する方も増え、ケアマネジャー訪問の際にも薬手帳でかかりつけ薬局や処方内容を確認しやすくなっています。一方で、薬局では、利用者が介護保険を利用されているか、ケアマネジャーがどの事業所であるか等は分かりにくいようです。

「はじめまして～何かあればまた相談します」からはじまる顔の見える関係が、「何か困ったとき、気づいたとき、助けが必要なとき」に、顔が浮かび“手をつなぎあえる関係”へと発展していくように、今後もこのような取り組みに期待をしています。

「多職種連携は相互理解から・・・。」彦根薬剤師会様、彦愛犬ケアマネ協議会様、両団体の皆様の熱心な意見交換をきいて改めてそう感じました。今後ともよろしく願います。

### 【発行者】

一社)彦根愛犬大上介護保険事業者協議会  
(在宅医療福祉職応援事業)

〒522-0056 彦根市八坂町 1900-4

くすのきセンター 3階

電話:0749-49-2455 FAX:0749-49-2433

E-mail: info@gen-ai-ken-kaigo.jp

「在宅医療福祉職応援事業」は、患者様、利用者様に安心した療養環境をつくりだすために日々奮闘されている医療介護福祉関係者が、互いの職種を理解し、より良い連携が図れること、そして働きやすい環境を創り出すことを目的に、くすのきセンターを拠点に事業に取り組んでいます。